

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2005-506275(P2005-506275A)

【公表日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2002-548141(P2002-548141)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 5/38

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/28

// C 0 7 K 14/50

C 1 2 N 15/09

【F I】

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 5/38

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/28

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/50

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月6日(2003.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脊髄損傷；脊髄外傷；虚血性の発作、梗塞形成、出血、又は動脈瘤により引き起こされる神経組織損傷；ハンチントン病；多発性硬化症；ミエロパシー；脊髄炎；又は脊髄空洞症を治療するための医薬組成物であつて、有効量のFGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項2】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記ポリペプチドが、FGF-20に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記ポリペプチドが、図1に示す第1アミノ酸～第211アミノ酸を含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項5】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列

同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項2に記載の医薬組成物。

【請求項7】

脊髄損傷；脊髄外傷；虚血性の発作、梗塞形成、出血、又は動脈瘤により引き起こされる神経組織損傷；ハンチントン病；多発性硬化症；ミエロパシー；脊髄炎；又は脊髄空洞症を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項8】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項9】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-20をコードする、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項10】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項11】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項12】

副腎白質萎縮症、進行性多病巣性白質脳症、脳脊髄炎、ギリアン-バレー症候群、パラタンパク質血症、又は慢性炎症性の脱髓性多発神経障害を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項13】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記ポリペプチドが、FGF-20に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項15】

前記ポリペプチドが、図1に示す第1アミノ酸～第211アミノ酸を含む、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項16】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項17】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項13に記載の医薬組成物。

【請求項18】

副腎白質萎縮症、進行性多病巣性白質脳症、脳脊髄炎、ギリアン-バレー症候群、パラタンパク質血症、又は慢性炎症性の脱髓性多発神経障害を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項19】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項18に記載の医薬組成物。

【請求項20】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-20をコードする、請求項19に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項18に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項19に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

移植片の生着を促進させる医薬組成物であって、有効量のFGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項 2 4】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項23に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

前記ポリペプチドが、FGF-20に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項24に記載の医薬組成物。

【請求項 2 6】

前記ポリペプチドが、図1に示す第1アミノ酸～第211アミノ酸を含む、請求項23に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項23に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

前記ポリペプチドが、図1に示すヒトFGF-20の第1アミノ酸～第211アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項24に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

移植片の生着を促進させる医薬組成物であって、有効量の、FGF-20ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項 3 0】

前記FGF-20ポリペプチドがヒトのものである、請求項29に記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-20をコードする、請求項30に記載の医薬組成物。

【請求項 3 2】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項29に記載の医薬組成物。

【請求項 3 3】

前記ヌクレオチド配列が、図1に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項30に記載の医薬組成物。

【請求項 3 4】

多発性硬化症を治療するための、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項 3 5】

多発性硬化症を治療するための、請求項7に記載の医薬組成物。

【請求項 3 6】

脊髄損傷；脊髄外傷；虚血性の発作、梗塞形成、出血、又は動脈瘤により引き起こされる神経組織損傷；ハンチントン病；多発性硬化症；ミエロパシー；脊髄炎；又は脊髄空洞症を治療するための医薬組成物であって、有効量のFGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項 3 7】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項36に記載の医薬組成物。

【請求項 3 8】

前記ポリペプチドが、FGF-9に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項37に記載の医薬組成物。

【請求項 3 9】

前記ポリペプチドが、図3に示す第1アミノ酸～第208アミノ酸を含む、請求項36に記載の医薬組成物。

【請求項 4 0】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項36に記載の医薬組成物。

【請求項 4 1】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項37に記載の医薬組成物。

【請求項 4 2】

脊髄損傷；脊髄外傷；虚血性の発作、梗塞形成、出血、又は動脈瘤により引き起こされる神経組織損傷；ハンチントン病；多発性硬化症；ミエロパシー；脊髄炎；又は脊髄空洞症を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項 4 3】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項42に記載の医薬組成物。

【請求項 4 4】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-9をコードする、請求項43に記載の医薬組成物。

【請求項 4 5】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項42に記載の医薬組成物。

【請求項 4 6】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項43に記載の医薬組成物。

【請求項 4 7】

副腎白質萎縮症、進行性多病巣性白質脳症、脳脊髄炎、ギリアン-バレー症候群、パラタンパク質血症、又は慢性炎症性の脱髓性多発神経障害を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項 4 8】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項47に記載の医薬組成物。

【請求項 4 9】

前記ポリペプチドが、FGF-9に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項48に記載の医薬組成物。

【請求項 5 0】

前記ポリペプチドが、図3に示す第1アミノ酸～第208アミノ酸を含む、請求項47に記載の医薬組成物。

【請求項 5 1】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項47に記載の医薬組成物。

【請求項 5 2】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項48に記載の医薬組成物。

【請求項 5 3】

副腎白質萎縮症、進行性多病巣性白質脳症、脳脊髄炎、ギリアン-バレー症候群、パラタンパク質血症、又は慢性炎症性の脱髓性多発神経障害を治療するための医薬組成物であって、有効量の、FGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項 5 4】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項53に記載の医薬組成物。

【請求項 5 5】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-9をコードする、請求項54に記載の医薬組成物。

【請求項 5 6】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項53に記載の医薬組成物。

【請求項 5 7】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項54に記載の医薬組成物。

【請求項 5 8】

移植片の生着を促進させる医薬組成物であって、有効量のFGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片を含む上記医薬組成物。

【請求項 5 9】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項58に記載の医薬組成物。

【請求項 6 0】

前記ポリペプチドが、FGF-9に特異的な免疫原性活性をもつ、請求項59に記載の医薬組成物。

【請求項 6 1】

前記ポリペプチドが、図3に示す第1アミノ酸～第208アミノ酸を含む、請求項58に記載の医薬組成物。

【請求項 6 2】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項58に記載の医薬組成物。

【請求項 6 3】

前記ポリペプチドが、図3に示すヒトFGF-9の第1アミノ酸～第208アミノ酸に95%の配列同一性を有し、かつ、上記ポリペプチドがFGF活性をもつ、請求項59に記載の医薬組成物。

【請求項 6 4】

移植片の生着を促進させる医薬組成物であって、有効量の、FGF-9ポリペプチド又はその生物活性断片をコードするヌクレオチド配列を有する核酸を含む上記医薬組成物。

【請求項 6 5】

前記FGF-9ポリペプチドがヒトのものである、請求項64に記載の医薬組成物。

【請求項 6 6】

前記ヌクレオチド配列が、中断されることなくFGF-9をコードする、請求項65に記載の医薬組成物。

【請求項 6 7】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項64に記載の医薬組成物。

【請求項 6 8】

前記ヌクレオチド配列が、図3に示すヌクレオチド配列に95%の配列同一性を有する、請求項65に記載の医薬組成物。

【請求項 6 9】

多発性硬化症を治療するための、請求項36に記載の医薬組成物。

【請求項 70】

多発性硬化症を治療するための、請求項42に記載の医薬組成物。